

公益社団法人 日本都市計画学会中部支部 2022 年度通常総会
議事録

日時：2022 年 4 月 2 日（土） 13：30～14：30

場所：名古屋都市センター11 階ホール、Zoom との併用

参加：名古屋都市センター：浅野聡、秀島、浅野純、倉内、鶴田、佐藤、竹中、嶋田、磯部、吉村、永柳、名畑（12 名）

Zoom 参加：18 名

記録：浅野純

1. 議長選出

秀島副支部長より、支部規定 7 条に基づき、議長は浅野聡支部長が務める旨の説明があった。事務局より会場参加者 12 名、Zoom 参加 18 名、委任状提出 106 名、計 136 名により規定が求める 72 名以上の必要定足数を満たす旨の説明があった。議長より書記は支部規定に基づき浅野純副支部長が務める旨の説明があった。

2. 報告事項

・2021 年度事業報告・・・議長より以下の各項目に関し、資料に基づき報告があった。

総会、幹事会、研究発表会・研究活動交流会、講演会/見学会、国際交流講演会・研究会、都市計画行政における官学連携研究会、各委員会活動

議長より研究発表会には 15 題、ポスターセッション 2 題、計 17 題の発表があり、優秀講演者 2 名が選ばれた旨の説明があった。さらに活発な学生発表を求める旨の説明があった。

情報管理委員会については支部研究発表会論文集の J-Stage 掲載の推進、支部 HP の更新等、大きな改善があった旨の説明があった。

各委員会の活動はコロナ禍でありながら、活発な活動がなされた旨の説明があった。

・2021 年度収支報告・・・議長より資料に基づき 2021 年度の収支報告があった。

議長より、公共交通研究小委員会の活動として講習会収入 19 万余が発生し、予算額にないものの、最終的には 15 万余のプラス収入があった旨の説明があった。コロナ禍で研究活動支出が限られたこともあり、決算額は 58 万余の残額が発生した。これは本部に返金される旨の説明があった。

質疑等：総会報告の出席者数の誤植の指摘があった。

3. 議案

・2022 年度事業計画（案）・・・議長より以下の各項目に関し、資料に基づき議案説明があり、原案の通り、承認された。

支部通常総会、幹事会、2022 年度支部研究発表会・研究活動交流会、講演会/見学会、国際交流講演会・研究会、都市計画行政における官学連携研究会、各委員会

支部研究発表会・研究活動交流会は中部大学の受け持ちで 10 月 7 日に開催される旨の説明があった。

・2022年度役員選出(案)・・・議長より2022年度役員選出(案)に関し、資料に基づき議案説明があり、原案の通り、承認された。

議長より支部長、副支部長は留任(2年目)、幹事もほぼ前年と同じメンバーで進める旨の説明があった。

質疑等：役員選出にかかわる支部規定について確認があった。

4. 閉会

質疑等：本年度の収支報告において、予算案は提出しないのかとの旨の質問があった。議長より、公益法人化にともない、会計報告のやり方が変わったこと、予算内容は本部で一括で行われること、代わりに資料には参考資料としてつけてある旨の回答がなされた。

会の閉会にあたり、秀島副部長より議長を解任する旨の発言があった。